

合併建設計画提案 事業一覧

(素材として両市町が提案しているものであり、各論掲載事業として決定しているものではありません。)

市事業

事業名	事業内容
巻潟東インター周辺整備事業	<p>【事業目的・効果等】 巻潟東インターに停車する高速バスの運行頻度が非常に多いという特性を活かして、駐車場や送迎スペースの充実を図る等、高速バス利用を促進する交通拠点づくりを行う。</p> <p>【主な事業内容】 案内標識の設置事業 巻・潟東IC周辺の各施設利用者等に対して、IC出口と各工業団地アクセス路入口付近に案内板を設置し、スムーズな誘導を行うものである。案内板設置:約20基 高速バス乗り場周辺環境整備事業 高速バス利用者の夜間における安全確保のため、高速バス停、駐車場、通路等に適宜街灯を設置するとともに、滞留スペースの確保や階段、待合所等の美化を図っていく。また、利用者の導線に沿って案内板を適宜配置する。 送迎スペース整備事業 高速バス利用者に対して家族等の送迎施設を整備し、安全・快適かつ円滑に乗降できるようなスペースを確保する。 待合施設等の整備 高速バス利用者のより一層の利用環境の向上のために、高速バス乗り場と送迎スペースに隣接して「待合い・トイレ施設」を整備する。また、高速道路の混雑状況や通行止め状況、高速バス運行状況が確認できる情報案内板の設置を行う。 パークアンドライド駐車場整備事業 駐車場不足により発生している路上駐車を解消するため駐車場を整備し、通勤・通学等の高速バス利用者の利便性を高める。 駐車場整備:220台 150台程度増設可能なものとする。</p>
巻潟東インター周辺道路整備事業	<p>【事業目的・効果等】 パークアンドライド駐車場に出入りする車両が、(主)長岡・栃尾・巻線の交通の流れをできるだけ妨げないよう配慮しつつ、パークアンドライド駐車場周辺の道路基盤整備を行う。 特に、高速道路西側の側道については、高速バスを利用する歩行者の安全を守るために、幅員2.5mの歩道を確保するとともに路上駐車を排除する。</p> <p>【主な事業内容】 整備延長:1,000m</p>
道の駅整備事業	<p>【事業目的・効果等】 巻町福井地内の「じよんのび館」を中心とした一帯を「ほたるの里」として町で整備を行っているが、この隣接地に「道の駅」を整備する。 現在、ほたるの里周辺には、角田山登山道や日帰り温泉保養施設「じよんのび館(3セク運営)」、角田山の美しく自然豊かな動植物を紹介した「角田山自然館」、ふるさとの川の認定を受けた矢垂川の「ほたるの里公園」、日本初の認可を受けた地ビール園「エチゴビール」があり、優れた自然景観の中で健康増進・リフレッシュに多くの方が訪れている。 しかし、休憩・軽食・物産販売・地域情報発信の場がないことから、「道の駅」を休憩・地域情報発信の中心として活用すると共に、隣接する農村改善センター内に軽食・物産販売を行い、「道の駅」を核に地域活性化の一大拠点として整備する。</p> <p>【主な事業内容】 駐車場(大型20台・小型20台)、トイレ、情報・休憩施設</p>
巻駅地下通路整備事業	<p>【事業目的・効果等】 巻駅構内に、横断地下通路を建設し環境の向上を図る。 巻駅は、駅の基準である乗降者数5,000人/日を上回り、昭和40年代後半に開通した国道116号沿線には当初、農業高校、税務署等の公共施設建設を始め、住宅開発が進み、近年は商業施設の開発が進み新市街地となっている。既存の巻駅西側の市街地と先の新市街地との連携を図ることは巻町の活性化のために必要である。</p> <p>【主な事業内容】 地下通路 全長:68m、幅員:3.5m</p>
総合体育館建設事業(巻)	<p>【事業目的・効果等】 町民の生涯スポーツ・レクリエーション活動を推進するにあたり、「いつでも、だれでもが気軽にスポーツ・レクリエーションを楽しむことのできる」拠点施設を設置し、健康づくりなども含めた住民サービス向上を図る。 現在巻町には、巻・漆山体育館の2施設があるが、巻体育館は昭和39年、漆山体育館は昭和45年に旧小学校、旧中学校の学校施設として建設され、その後、学校の統合等により不要となった施設を有効利用しながら現在に至っている。そのため、老朽化が進んでおり、併せて住民のスポーツ等ニーズに応える施設となっていない。 老朽化している2施設は改修等を行い、今後も利用していく。</p> <p>【主な事業内容】 建物 鉄筋コンクリート造り1F メインアリーナ 柔剣道場 チャイルドルーム ステージ ランニングコース 相談室 トレーニングルーム 会議室 事務室 その他</p>
図書館建設事業	<p>【事業目的・効果等】 公民館内の狭隘な図書室では、現代の町民が抱く多様なニーズに応えきれなくなっている。また、町内に中学校1校、高等学 校3校(内1校はH16年度をもって廃校)、中学校2校、小学校5校があり、学習スペースとしても図書館が待望されている。 そこで、総合体育館と児童館に隣接した用地に、郷土資料館を併設した図書館を建設することによって、文化・スポーツ・学習ゾーンが一元化される。この整備事業によって、複合的かつ総合的な事業展開も容易に可能となり、住民のコミュニティの向上も期待できる。</p> <p>【主な事業内容】 建物 鉄筋コンクリート造り2階建て(郷土資料館併設) 一般閲覧室 児童コーナー AVコーナー 書庫 整理室 事務室 機械室 学習室 視聴覚室 会議室 その他</p>

事業名	事業内容
防災気象情報システム整備事業	<p>【事業目的・効果等】 暴風雨初期における迅速かつ総合的な防災対策実施への情報提供のほか、床上・床下浸水等の被害の予測、火災予防及び警防活動の早期配備体制の確立、防災対策の基礎的情報の蓄積・解析を行う。</p> <p>【主な事業内容】 合併に伴い新潟市に設置の既存測定局以外に測定局を設置する。 ・新設測定局装置の導入 ・新設測定局装置の設置小屋 ・防災課、消防局にある中央監視局、端末局の変更</p>
防災行政無線整備事業(地域系)	<p>【事業目的・効果等】 合併市町村間における通信手段の一本化により地震等大災害発生による電話回線使用不能時の情報収集、連絡体制の確保を図る。</p> <p>【主な事業内容】 新潟市防災行政無線設置の基準により、市関係部署、避難所等に防災無線を設置する。 ・半固定局18局 ・車携帯局5局 260MHz帯のデジタル無線設備を設置</p>
防災行政無線整備事業(同報系)	<p>【事業目的・効果等】 巻町の海岸部に屋外子局を増設することにより、地震や津波避難対策として、緊急情報を市民にいち早く知らせることができる。</p> <p>【主な事業内容】 現行の設置状況に合わせ、巻町の海岸部に屋外子局を増設する。また、電波が到達しない部分があるため、再送信子局(簡易中継設備)を設置する。 ・屋外支局増設5局 ・再送信設備付屋外支局3局 ・親局等設備改修</p>
高機能消防指令センター総合整備事業	<p>【事業目的・効果等】 合併後の新市域をカバーできる最新の技術と融合した新消防緊急通信指令施設の構築を図り、合併後においても迅速・確実な出動態勢を確保し、市民サービスの均一化と安全確保に努めるものである。</p> <p>【主な事業内容】 消防緊急通信指令施設概要(主要装置) 指令装置、自動出動指定装置、NTT発信地表示装置、指令電送装置 地図検索装置、車両動態位置管理装置、無線設備、消防ITシステム 災害情報配信システム</p>

県事業

道路整備事業(国道460号)	<p>【事業目的・効果等】 巻町大字河井の交差点から巻・潟東インター交差点を経由して潟東村大字今井の交差点まで自転車・歩行者道を設置する。 国道460号には歩道が整備されておらず、かつ車の交通量が多く、漆山地区や潟東方向からインターの高速バスを利用する利用者にとって危険が伴っている。自転車・歩行者道を設置することにより、歩行者等の安全が確保でき、かつ交通事故の減少に寄与できる。</p> <p>【主な事業内容】 今後、県と協議するものとする。</p>
道路整備事業 (主要地方道長岡栃尾巻線)	<p>【事業目的・効果等】 交差点改良 (主)長岡栃尾巻線の交差点形状から工業団地へのアクセス路に流入する時に特に大型車が流入しにくく、また、巻町方面から流入する場合は、右折レーンが確保されていないため渋滞の要因となっており、これを解消する。 交差点を改良することにより、渋滞が解消され、交通の流れがスムーズになる。 歩道整備 (主)長岡栃尾巻線について中之口村方面から高速バス乗り場に向かう自転車、歩行者の安全な歩行空間を確保するため自転車歩行者道を整備する。 自転車・歩行者道と自動車道を分離することにより、交通事故の減少に寄与できる。</p> <p>【主な事業内容】 今後、県と協議するものとする。</p>